

活動名	こどもぼうさいまつり in にしはらむら 開催	団体名称	特定非営利活動法人さくらネット
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	⑦自然災害で被災した子どもを支援する活動
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
子どもたちが楽しみながら参加できる「こどもぼうさいまつり」を、熊本県西原村で2回開催します。子どもぼうさいまつりは、被災してトラウマを抱える子どもや保護者も気軽に参加でき、安心感と安全感を自ら育んだり、自分自身の体験を表現したりするきっかけをつくる、体験型の防災イベントです。また、「こどもぼうさいまつり」は、心のケアと一体的に進める防災教育推進のきっかけでもあります。そのため、地元の子どもの支援の専門職や学生ボランティア等と共に実行委員会を立ち上げ、地元での継続的な展開に意欲的な支援者の養成を兼ねて実施することとします。さらに、準備プロセス、当日の様子や事後のふりかえりの声などを、SNS等で発信し、被災地周辺に活動が広がるよう取り組みます。		2017.9- 2017.10~11 2017.12~2018.1 2018.1~2. 2018.3 2017.9~【随時】	「こどもぼうさいまつり」開催に向けた現地調整の実施 第一回こどもぼうさいまつり企画委員会・リーダー養成研修会開催 第一回「こどもぼうさいまつり」・振り返り会議 開催 第二回こどもぼうさいまつり企画委員会・リーダー養成研修会開催 第二回「こどもぼうさいまつり」の実施・振り返り会議 開催 防災教育/防災活動における学生ボランティア、学生リーダーの活動コーディネートサポートの実施 日常から活用できるプログラムの解説動画や学習ツール等をSNS等で発信
■活動目標	<ul style="list-style-type: none"> 被災してトラウマを抱える子どもや保護者も気軽に参加できる機会を提供する 安心感と安全感を自ら育んだり、自分自身の体験を表現したりするきっかけをつくる 地元での継続的な展開に意欲的な支援者の養成を兼ねて実施する SNS等で発信し、被災地周辺に活動が広がるよう取り組む 		
■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> 災害のトラウマなどを抱える子どもや保護者も気軽に参加できる場、表現できる機会を提供し、回復のプロセスをサポートできる 心のケアと一体的に進める防災学習を体験できる 安心感・安全感を感じる場を提供でき、理解者が増える 		
■活動風景			
〈防災体験の様子①(2017年11月・甲佐町白旗小学校)〉		〈活動の様子(2018年2月・甲佐町白旗小学校)〉	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p>■上期の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本県内の小学校等で、大学生ボランティアと小学生が交流したり、防災学習などで一緒に活動したりする機会を2回つくることのできた。小学生は大学生生活や勉強などに興味を持つきっかけとなった。また、大学生からは、今後、「こどもぼうさいまつり」への参加の意欲を得ることができた。 活動報告や「しまうまのトラウマ(トラウマ体験によるストレス反応からの回復プロセスを表現した絵本)」等についてSNS上で発信したところ、予想よりも多くの方にご覧いただいた。 <p>■下半期に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 「こどもぼうさいまつり in にしはらむら」を開催する際、西原村に限らず、子ども達に寄りそう大人が広く参加できるよう調整する。 「こどもぼうさいまつり」に向けた実行委員会の開催、イベント、振り返り会を通し、イベントのもたらす意味や成果などを分析する。体験しながら学ぶことが、心のケアと防災学習につながることを整理し発信したい。 			
〒 663-8201 (住所) 兵庫県西宮市田代町16-8 パルティーレN棟西号室 (団体名) 特定非営利活動法人さくらネット (ホームページ) : http://www.npo-sakura.net/		助成金額 500,000円	助成期間 H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。